令和６年度

「総合的な学習の時間」発表会

広島県立三次中学校

三次市議会

広報広聴常任委員会

令和6年度 「総合的な学習の時間」発表会

◆ 趣旨

新しい発想，意見の聴取と議会に対する理解を深め，政治を身近に感じてもらいたいとのことから出張型の議会報告･懇談会として，高校生との意見交換会を実施してきたが，これに加え，令和4年度には県立三次中学校の依頼を受け，三次市の持続可能な発展に関する提案を発表する「総合的な学習の時間の発表会」に三次市議会として参加している。

令和5年度，令和6年度もこの取組は継続され，11月26日，12月20日に行われた地域活性化案の発表会に全議員を対象として参加してきた。令和7年2月4日には校内で選考された4グループの発表会が開催され，三次市議会から 6 名の広報広聴常任委員が出席し，その他の出席者と共に更に選考を行ったところである。

そして最終的に選ばれた2グループの地域活性化案の発表を行うにあたり，「課題の発見，設定による思考力の育成」「三次市の持続的発展に対する自らの気づき」「協働的な活動を通した他者へ伝える思考力，表現力の育成」というねらいに賛同するとともに，議会をより身近に感じてもらうこと，政治に対する関心の醸成に資することととらえ，開かれた議会の一環として議場において発表会を開催した。

総合的な学習の時間 ～三次市議会議員との交流会～

1　内容
全１０グループが研究している地域活性化のためのアイデアに対して議員がアドバイスを行う

2　実施日
令和５年１１月２４日（金）　１１：４０～１２：３０

3　会場
広島県立三次中学校　３年Ａ組・Ｂ組教室，２４４教室，２４５教室

県北地域活性化案　クラス内発表会

１　内容
アドバイスを基に，再考した活性化案を発表

２　実施日
令和６年１２月２０日（金）　９：４５～１１：３０

３　会場
広島県立三次中学校　３年Ａ組・Ｂ組教室

「総合的な学習の時間」発表会

１　内容
クラス内発表会で選考された４グループが活性化案を発表

２　実施日
令和７年２月４日（金）　１４：３０～１６：２０

３　会場
広島県立三次中学校　視聴覚教室

「総合的な学習の時間」発表会

１　内容
最終的に選考された２グループが活性化案を発表

２　実施日
令和７年２月１０日（月）　１４：００～１５：００

３　会場
三次市議会議場

当日の様子（11月26日）

議員アンケート（11月26日）

1.本日の感想

キリコちゃんメジャー化プロジェクト　～キリコちゃんの知名度を上げて三次を活性化～
①5グループはキリコちゃんをメジャー化するために，イベントの企画やプロモーションビデオ（三次の観光地）を作成していたが，企画途中であり，今から盛り込めば良いことになると思える発表であった。もののけミュージアムとのコラボも提案されていた。
②ゆるキャラブームは過ぎ去った感はあることは伝え，コロナで社会全体が停滞気味から少しずつ上昇過程にあり，やりようによっては知ってもらえるようになること。
私からの提案として，
①各種イベントにキリコちゃんを出演させる
②プロモーションビデオにキリコちゃんを出演させる
③「わ！○○」と，キリコちゃんが観光地を紹介
④三和のキャラクター「新米みわ子」の春夏秋冬の装いをした例を示して，新米みわ子ちゃんの歌を紹介。（歌を各種イベントで紹介したり，体験しているキリコちゃんを登場させたりすれば）
⑤商工会議所と協議し，土産等の包装紙にキリコちゃんのシールを貼って販売してもらう　などを提案

活性化案の説明は，昨年度みよし未来環境会議のサステナアンバサダーを務めた生徒が主に行ったので，プレゼンとしてもとても慣れている様子でした。
三次の魅力は都会と田舎が共存している，との観点で，様々な商業施設が集まっている中心市街地があり，ある程度のものは揃っている，暮らしやすい街であることをアピールしていくそうです。
一方では，自然豊かな田園地帯も広がっており，そうしたところで住みたいと考える移住者を呼び込めるのではないか。それをキリコちゃんを使ってＳＮＳで発信していく，という提案でした。
三次市の実態を踏まえた現実的な提案であったと思います。
キリコちゃんをどのようにアピールポイントにしていくか，ＳＮＳのターゲット層をもう少し明確化。ＳＮＳでそのようにバズらせるか。三次の良さを写真を使い視覚的にアピールしながら，内容を膨らませていく必要があると思いました。
次回，どのようにブラッシュアップされているか楽しみです。

生徒の皆さんの研究課題への取組を聞き，意見交換をすることで，生徒視点での地元への印象や課題を知ることができた。今回の意見交換会で得た意見や感想を今後の議会活動に生かしていきたい。おそらく，まだ未完成である段階での提案を聞かせていただいたので，アドバイスのしがいがあった。また，早めに議員タブレットに発表内容と担当議員の情報をあげていただいたので，事前に発表内容への参考資料や有効なアドバイスを準備することができた。

学生ならではのアイデアは素晴らしいと感じます。アドバイスはたくさんしていますので，次回の発表が楽しみです。

弓掛・月橋班は“移動販売チェーン店プロジェクト”という，学校でのランチを楽しいものにしたいという発案でした。おもしろい発想で是非実現できるよう，ついつい中小企業診断士的視点からの“アドバイス”，“ダメ出し”などしてしまいました。みんな意欲的でレベルの高い生徒達だと感じました。学生も地域も事業者も良くなるプロジェクトで，是非バックアップしてあげたいと思います。

中学生なりに廃校の利活用などグループでよく研究し，考えて発表してくれました。ターゲットの絞り込み，カフェのメニューなど，今後グループで考えていくと言ってくれました。時間配分や日程も良いと思う。５グループに分かれていて，ゆっくりと話ができたので，今後もこのスタイルで進めてほしい。三次市の将来のことをよく考えていると思う。発表会でのレベルアップを期待しています。
芸備線を盛り上げるためのグループに参加させていただき，芸備線のことだけでなく，今後の三次市をもっと盛り上げてくれそうな熱意を感じ，何か私たちが協力できることがあば，相談していただければと思いました。今回の人数によるグループトークは話しやすかったし，聞きやすかった。
テーマ（目の付け所）はとても良いと思いました。現実のものとしていくためには，もっと調査研究が必要だと感じたのでアドバイスをしたつもりです。壁は高いと思いますが，実現に向け頑張ってもらいたいものです。
Come to みよしプロジェクト ①農業体験をしてもらう ②宿泊できる施設をつくる ③自分で収穫した野菜でバーベキュー この概要について学生さんと勉強いたしました。一番素晴らしいことは，一人一人が前を向いていること，担い手について勉強されていること。色々な農業体験を通じて，三次を愛する子どもに育ってください。
中３で地元のことを考えていることに感心します。三次を知ってもらう取組にキリコちゃんを使うことは良いのではないか。ただあまり有名ではないのが残念です。何かとのコラボが良いのではないか。中国地方の真ん中で交通の便は良いでの来てもらう何かを見つけることが必要ではないか。三次にあるもので，できることは何かをしっかり調査してはどうでしょうか。
「キャンプ場を作ろう」という内容でのプレゼンの内容について，作成途中のアイデアについて聞かせてもらいました。発表内容の全体的な構成について，テーマの設定，三次市の特長を生かした活動の内容の選択，霧の海を売りに他，２名の議員が一方的に話し，中学生たちが一生懸命に聞いていた４０分でした。短い時間でのアドバイスをしっかりお願いしますという先生の指示に従いましたが，時間があれば中学生ともう少し意見交換しながらプランが作られたらいいなと思います。
Come to みよしプロジェクトについて 三次の農業活性化策について提案があり，議員から感想と三次の農業状況を話し，提言もさせていただきました。熱心に聞いていただき，成案が楽しみです。形式的に良かったのではないかと思います。
自分のグループは「食で見つける三次の魅力」のタイトルで発表されました。人口減少に危機感を持ち，県内外から人に来てもらうために，広島フードフェスティバルを参考に，みよし運動公園で予算5,000万円で備北のスイーツや特産品でフードフェスティバルを行ってはどうだろうかという事でした。着眼点のすばらしさを伝えたうえで，イベント開催での注意点や計画するうえでの来場者数や動線の設定などをアドバイスさせていただきました。広報の難しさなども話をさせていただきました。純粋に考えていただいていますので次回の発表でどのように反映されているか楽しみにさせていただいております。

キリコちゃんをメジャー化プロジェクト
最近あまり見かける時が減った，三次のキャラクター「キリコちゃん」を前面に出す発想にビックリ。中学生が知ってて嬉しかった！キリコちゃんをモチーフにしたスイーツ考えて欲しいです。楽しみ！プレゼンの動画もいいのが出来ていました。Good！キリコちゃんコンテストの内容がもっと深まったら内容が聞きたい。三次の人口減少に繋がるには，イベント開催だけではハードルが高いかもしれないけれど，まずはキリコちゃんで，しっかり三次のPR活動から頑張れたらいいですね！楽しい発想をありがとうございました。

私のグループでは「空き家を活用した泊まれる遊び場」というプロジェクトでしたが，早くも立派なプレゼン資料を準備されていました。三次市の人口が減ってきていて，さらに２０代，３０代の若者の流出が多いということでターゲットは若者や親子連れ。１泊できて２日間事前体験や周りを気にせず思いっきりゆっくりしたり遊べたりする場所に，現在三次市で問題になっている増え続ける空き家を活用し，活用を若い人も集えるような場所を作りたいとのことでした。具体的には大人はカフェでゆっくりし，子どもは元気に遊べるという空間だそうです。今回の提案の参考とした場所は，TOKYO KIDS CASTLE。三次市の空き家率なども調査されていました。それを行うにあたっての課題は何があると思うか聞くと，空き家に仏壇があったり壊れかけていたりすることや，空き家の衛生面などが心配という答えが返ってきました。私からは，活用前に考えられる課題，活用してから考えられる課題など，一度整理する必要があることを伝えました。藤井議員からも，誰がイニシアチブを取ってこの事業を行っていくのか，決めたほうがいいということを課題提起されました。また，実際の空き家の活用を推進されている集落支援員さんや移住定住コーディネーターさんから聞き取りをしてみてはどうかと伝えました。視点もとても素晴らしいと思うので次回ターゲットを絞り，具体的な裏付けと取組内容を詰めて行ってもらいたいと思いました。とても素晴らしい視点を調査力だと思うので，次回とても期待しています。

三次市の活性化のため，フードフェスタ開催を計画するグループ
・開催場所の着眼点は良いが，広範囲となるため参加規模から適正な場所を検討する
・予算見積りがあいまい。必要事項を丁寧に見積もる必要がある
・三次の特産品を積極的に取り入れるなどの検討がいる
・学生だけでなく，商工会やＪＡなど幅広く賛同を得ることが重要である
・マスコミを活用するべきではないか　など発言し，意見交換を行った。
意見交換開始時にあった，お互いの緊張感も後半にはほぐれ，真剣にフードフェスタ開催に向けた議論ができたのではないか。次回の提案を楽しみにしています。

内容はともかく，例年通り，よく事前学習ができていると思いました。中学校３年生のレベルで良く考えていると感心しました。あれ以上のレベルを初回から見せられると議員である私なんかは，力量不足が否めないと感じてしまいます。大事なのはストーリーを作ること（バックキャスティング法）が大切だと思います。その結果，イメージが湧くと思います。さらに，目標を作ることが大事で，積み上げて考えるとごちゃごちゃします。例年，感じているのは思いが生徒の皆さんにたくさんあって，それぞれの意見を言われると思うので，いろんなことが入ってしまって結局何がしたいのかということがぼやけてしまいます。そのあたりの組立を考えたら，もっと明確になって議論が弾むと思います。ここからどのように完成度を仕上げていくのかを楽しみにしています。

着眼点は非常に良かった。現地調査等が中学生という立場では困難な中で，ネット等の情報収集でカバーしていた。アドバイスを受けて，どうブラッシュアップされるか，発表会が楽しみです。

2.今後，改善したらいい点があれば
議員の持論のみを語るのではなく，生徒側から意見を引き出し，深掘りすることで発表内容への助言をする方法（ファシリテーター）の勉強を定期的にすることも必要だと思った。改善点というわけではないが，生徒たちの発表内容をいくつか実現させてあげることができないかと思った。

当日の様子（12月20日）

議員アンケート（12月20日）
本日の感想
①「集まれ！子育てと産業の町　三次」 発想は面白いのですが，今の制度の活用だけのよう ②「異動販売プロジェクト」 高校を楽しくすることになるので，検討してみてはどうか ③「保育園留学政策」 移住者を呼び込むには大変重要です。現在の保育所の検討が必要です ④「廃校を楽しめる場所に」 統廃合で廃校になるときに，地域も含め活用方法をしっかり検討する必要があるのではないか ⑤「キャンプ場復活！」 宿泊者を増やすためにはキャンプ場は面白いと思います。高谷山のキャンプ場の整備は必要です。 人口減少対策への取組であり，若い人たちの考えは大変参考になりました。宿泊者を呼び込むこと，Ｉターン，Ｕターンを考えることが大変重要です。
どのグループもそれぞれのテーマに沿って研究・調査し，わかりやすい発表だったと思います。実現可能な活性化案だと感じているので，ぜひとも市長に提案していただきたいと思います。
１グループ「食で見つける三次の魅力」 みよし運動公園で「きんさい県北フレーバー」を広島フードフェスティバルを参考に開催。ウォーキングコースに飲食ブースを出店していただき，陸上競技場でモルック，野球場でコンサートを開催する。 ２グループ「乗ってみんさい芸備線」 芸備線を観光列車にして，日帰りコースと宿泊コースのモデルコースを作り，芸備線と地元企業を盛り上げていく。 ３グループ「Come to みよしプロジェクト　うちらがいれば三次の農業は最強だ」 廃校などを利用して農業体験やイベント行事に使っていただく。障がい者の方や高齢の方にも協力をしていただく。 ４グループ「リラックスカフェ　カモミール」 育児に疲れているお父さんお母さんにリラックスしていただくカフェを作る。育児ストレスを感じている人は９１．７％おり，週１回３時間だけでも自分の時間があればストレスが減少するデータがある。 ５グループ「キリコちゃんメジャー化プロジェクト」 キリコちゃんを「くまもん」や「ふなっしー」のようにメジャーにするため，アフレコ大会のようなコミュニケーションを取ったり，ゲームやフェスに参加してもらう。 前回の意見交換会からブラッシュアップされていて，皆さん三次の現状を捉えて問題意識を持っていただいていると感じました。参考になった意見もたくさんあり，実現させていただきたい内容もあり三次市にとっても貴重なご意見であったと思います。

担当は，キッチンカー移動販売プロジェクト（三次出前館）でしたが，１回目に比べて具体的な数字がいれてあり，説得力が増していました。他にも，保育園留学，廃校カフェ，キャンプ場（グランピング）と実行できそうな取組が中学生とは思えない発表でした。最終発表が楽しみです。

「集まれ！子育てと産業の町三次！」を担当しました。趣旨としては，様々な小売店があり，ある程度産業としても集積し，地域公共交通も比較的充実している三次市について，子育てや教育施策の紹介とともに，自然環境を生かした生活もできる点をＳＮＳなどでアピールしていくことで，移住を促進するという内容でした。今回は２回目の交流であり，前回よりかなりブラッシュアップされていました。都市・農村双方の特徴を持ち，程よく住みやすい三次市をアピールするという内容は，まさにその通りだと思います。そのため，若干プレゼン的にも特徴が少ない印象を受けたので，その辺を強化したほうが良く，もう少し元気に発表すれば，なお良かったと思います。限られた授業の時間のため，プレゼン作成は放課後の時間などを使いながら，班員で議論して作り上げたそうです。どの班の発表も，三次市の現状から課題の抽出を行い，数値を基に的確に捉えられており，提案としても面白い内容が多くありました。そのまま一般質問として提案できるのではないかと思える内容もあり，私たち議員もより一層真剣に一般質問に取り組んでいかなければならないと感じました。この取組は主権者教育の行かんでもあります。政治は首長や議員が行うものではなく，住民一人一人が主人公であり，自分事として考えていかなければなりません。この学年には「みよし未来環境会議」初代サステナアンバサダーも複数います。今回のプレゼンも含めて，まちづくりに関心を持っているように感じました。こうした取組みを通じて，保護者を含め住民の意識が少しずつ変わっていくと思います。

最初の時と比較してみて，短期間で仕上げているのがとてもびっくりしています。クオリティーの高さに目を見張るものがありました。しっかりとストーリーができていて聞いていてわかりやすかったです。パワーポイントも良く工夫されています。ビジュアルで視覚に訴える内容も良くできていました。話をする際のリズムやテンポも良かったです。

「Come to みよしプロジェクト」（うちらがいれば三次の農業は最強だ）をモットーに
◎廃校を活用　・農業体験
・１年を通じて米作りを体験
・ジビエ料理
私が素晴らしいと思ったことは地域の活性化を図り，みんなで声をかけながら，日本の学生たち，また三次市の学生たちに声をかけ，農業のまちみよしをPRして頂くことです。

当日の様子（2月4日）

乗ってみんさい!!
芸備線

修学旅行
神戸でSDGsに取り組んでいる企業を見学して
県北地域の活性化に繋がるお話を聞きました。
神戸マツダ
G7ホールディングス

COME TO
みよしプロジェクト

当日の様子（2月10日）

議員アンケート（2月10日）
本日の感想
中学生の立場で何かと調べての発表だったと思います。良く出来た発表であったと思いますが，もう少し深掘りできていればもっと良かったと思いました。
２グループともそれぞれのテーマに沿って研究，調査してわかりやすい発表でした。実現可能な活性化案と感じました。高校生になっても引き続き，調査研究をレベルアップして欲しいと期待いたします。
「芸備線を盛り上げるには」についての班は，観光列車を走らせるアイデアの展開。先進地での成功事例を研究して，芸備線で可能な企画を展開した。地域の風景・食材・文化を柱に，観光列車をつくり，交流人口拡大を図る。市内の観光スポットへの誘客も盛り込んでいる。費用の算出は大まかなもので，もう少し手応えのある収支計画があるとさらに魅力ある企画となる。また費用の捻出についても考えると，より実効性が高くなり，説得力が生まれると思う。プレゼンパフォーマンスは中学生らしく生き生きとして爽やかな印象。 「Come to みよしプロジェクト」―うちらがいれば三次の農業は最強だ― は，農業を盛り上げるためのアクションプラン。ダイレクトに持続可能な農業政策を考えるのではなく，今の自分たちが関わることができる行動的で楽しいイベントを通して農業に関心を持ってもらいたいと企画したもので，伸びしろがあり楽しみ。 ２班とも地域の宝を見つめて企画されている。ぜひ将来何かの形になることを期待します。
２組が発表を行いましたが，全ての班の取組に敬意を申し上げたい。中学生目線での活性化は，私たち議員の今後の取組の糧になると思う。また，学生の皆さんが，この取組から将来にわたって三次市を好きになってほしい。可能であれば，全ての学生が議会へ出向き発表を聞くことによって，政治・議会との垣根が取れるのではないか。また，保護者への案内なども検討したらと思います。
両グループとも素晴らしい発表だったと思います。それぞれ研究・調査され，一般質問の勉強になるなと感じています。また，乗ってみんさい芸備線については，１２月２０日の時よりも更に研究されているなと感じました。二か所程度しか１泊プランが提案されなかったので，三次の自慢箇所を日替わりで１週間程度の行程にすれば，もっと企業の方々も賛同され，ＪＲにとっても利益が得れるようなら，現実味になると思います。
⑴三次市（備北地域）の課題を知り，継続的な発展に向けて取組を自分たちなりに考えることで，思考力を育成する ⑵他地域での取組を知ることを通して，発展に必要なことは何か，自ら知ること ⑶グループでの協働的な活力を通して分かりやすく伝える思考力・判断力・表現力を育成する 「Come to みよしプロジェクト」農業を活性化に活用 三次市の農業活性化 ◎農業体験をしてもらう ◎宿泊できる施設を作る ◎自分で収穫した野菜でバーベキューをする 担い手育成として，三次市のみなさまへ，ホームページに入れてもらったら生徒たちは非常に農業に興味を持っていきます。生徒たちが進学し，三次に帰ってくれることが大切です。

Ａ組２班　乗ってみんさい！！芸備線
このテーマで提言している内容で特に注目したのが，芸備線の存続と街の活性化についての提言は，現在の三次市が抱えている地域課題の解決に一石を投じた内容でした、特に，三次市に人を呼び込むことは政治家の我々でも良いアイデアがないところです。そこを果敢に攻めていった内容については評価できると感心しました。県北の三次に広島市あたりから来たいと思うようなモチベーションをどのように作っていくのかは難しい内容ですが，中学生の目線でいろんな発想が出たことは素晴らしいと思いました。存分に三次市の良さを抽出していただいたと思いますが，三次市に行かないとできないことや三次市にしかないものを探っていったところも良かったと思います。

Ａ組３班　COME TO みよしプロジェクト
まず目についたのはデータの活用です。客観的な指標に基づいて考えを構築することは大事な手法です。廃校の活用策と三次の農業をつなげていく発想は，王道で良いと思いましたが，４０歳未満の新規農業参加者数が増加していることをデータで示されたが，そこに農業の魅力が理由として考えられます。農業の体験があるなしに関わらず，そこを考慮して農業の魅力を中学生目線で語って欲しかったと思います。そこからの社会のあるべき姿の一つを紹介していただいた内容のある提言だったと思います。農業という大事な産業を通して，農業と人をつなげていくといった核心に迫るような内容に惹かれていきました。

最終的に選ばれた「乗ってみんさい芸備線」と「COME TO みよしプロジェクト」の２チームの発表を伺った。
まず，「チーム客の一本釣り」の発表については，パフォーマンスを交えてのプレゼンテーションに惹きつけられた。内容に関しては，「観光列車としての芸備線」の可能性が分かりやすいものになっていましたが，観光客がどのくらい減っているのか，芸備線利用客の推移など，があるとさらに説得力のあるものになったのではと思います。地域のあるものを活用する視点は素晴らしいと思いました。また，盛り上がる会への聞き取りなども行われているところも，海外向けに英語の案内なども素敵でしたが，せっかくなので外国人誘致を掘り下げてみると新しいかなと思いました。三次には観光の取組を担う，ＤＭＯという組織もあるので，ぜひ今の三次市の課題であったり，これからの計画など聞き取りにいったり，みんなのアイデアを協議できたりするとよいのかなと思いました。
２チーム目の山のstudentsのみなさんの発表については，まず，サブタイトルに「うちらがいれば三次の農業は最強だ！」という自信あふれるメッセージに，今，農業者さんは後継者不足や夏の暑さ，獣害などさまざまな要因でとても元気をなくされている方も少なくなく，元気を与えてくれると思いました。エビデンスを明確にした農業と廃校活用，障がい者雇用などの農福連携などの提案がとてもわかりやすく，農業をもっと楽しく誰もが関われる提案にとても心惹かれました。さらっとビニールハウスキャンプというとてもハードルの高いアウトドアを提案されているところも，斬新で面白かったです。それぞれのエッセンスをしっかり深めると，すごく希望のあるプロジェクトになるのではと思いました。
ぜひ次回は保護者のみなさんやメディアのみなさんにも議場に来ていただけたらと思います。中学生が地域課題にこんなに真剣に取り組んでいること，多くのみなさんに伝えることができればと思います。

県立中学校３年生のプレゼンを聞いて，非常に高いレベルにあると認識した。特に“フォグモグ”のキャッチコピーは，三次市でも使えば良いと感じた。生徒たちが地域の活性化を真剣に考えていたが，是非，一旦市外に出てもＵターンで帰ってくるキッカケになればと強く願う。